



西部地区の紹介

ひじり会の活動

茶寿会 会長 飯田 實

我が郷土、神ノ郷町は、前には三河湾を見下ろし、聖山を背に、春にはみかんの花が咲き、夏の暑い時、薬剤散布や摘果作業などは大変な仕事であるが、秋の収穫を迎え、みかんで山は真赤には映え、一年間の苦勞が報われる時でもあります。

西部地区は3つの会からなり、総称は「西部ひじり会」と言い、後ろに聖山を控えているためこの名称がつけました。

年間の行事としては、4月には総会と発会式、6月には親睦一泊旅行、7月には戦没者追悼法要を行います。9月には学習会で、みかん選果場で、選果、箱詰めなど全てオートメーション化された作業を見学しました。組合員である私でも始めて見た事で、大変面白く思いました。また、他地域の方々も良く来ていただき、私としては嬉しく感じました。

1月5日には氏神さんの赤日子神社で長寿祈願祭を行い、宮司さんのお祓いを受け一年間無事に過ごせるようにお祈りします。またレクリエーション的な楽しみとして、年間寿楽荘へ四回、豊川ふれあいセンターに二回、ひじり会としては3月に三河温泉にてお風呂に入り、芝居を見たり、昼食にはお酒も出て親睦をはかります。以上のような事で会員になればいろいろ楽しみがあると思いますが、農家の人が多く、皆さん忙しい毎日を送っておりますので、新加入者が出来ず苦勞しております。本年よりひじり会の会長ということになりましたが、何の自信もありません。会員の皆さんのご協力によりなんとか勤めたいと思います。また市老連の役員の方の指導を受けながらこの役を続けて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



蒲郡みかん
選果場見学



塩津地区の紹介

塩津長寿会（竹友会）とともに

竹友会 副会長 市川 紀子

私が塩津長寿会に属する竹友会の役員を引き受けて1年半が過ぎました。

行事が多く、しかも女性の労力の負担が大きい事を痛感しています。若い会員が増えないのが大きな原因でしょう。私も入会して五年になりますが、未だに最年少会員です。この事は他の会にも言える共通の悩みでしょう。

昔は老人にとって竹友会は唯一の憩いの場所でした。今の高齢者は若くて元気です。老人クラブに入らなくても、それぞれに趣味を持ち、役員も廻ってこない、気楽な付き合いが楽しめるのです。しかし年を重ねて行動範囲が限られた時に、地域の人との付き合い、係わりが大切になってくるのです。

私もこの一年間、年齢にも幅のある老人会の舵取りは難しいと感じていますが、バランスの取れた運営を心掛け、以前の様な魅力ある、活気に溢れる会にするための努力をしましようと思っています。

塩津長寿会の活動の例は、赤い電車まるごと応援団、夏の交通キャンペーン。小学生の布ぞうり作り、塩津小学校一年生の昔遊び。三年生の自転車教室など、この様な活動に積極的に参加して、教育を受け、それを日々の暮らしの中に生かす事が出来ればと思います。

最後にかつてからあった会が解散した時のようにならない為に、今話し合い、知恵を出し合い、時代に合った老人会を作らなければと思うのです。



小学生とのふれあい